

第145回 日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会 演題募集

日時：2018年2月17日（土）13：00-18：00

場所：東京大学弥生講堂 一条ホール

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

交通案内：地下鉄；東京メトロ 東大前駅(南北線)徒歩1分、

東京メトロ 根津駅(千代田線)徒歩8分

都バス；御茶ノ水駅(JR中央線、総武線)より茶51駒込駅南口

または東43荒川土手操車所前行 東大(農学部バス停)下車徒歩1分

参加費：1,000円(会員、非会員問わず)

例会長：長村 登紀子(東京大学医科学研究所附属病院 セルフプロセッシング・輸血部)

テーマ：輸血・細胞治療における品質・安全性の向上に向けて

(1) 開会あいさつ 13：00-13：05

(2) 一般演題 13：05-14：20

(3) 特別講演 14：20-15：00

座長：東京大学 輸血部 岡崎仁先生

「ヒト赤血球細胞株の樹立 ～臨床検査への応用と人工赤血球作製の可能性～」

演者 日本赤十字社中央研究所 栗田良先生

(4) シンポジウム 15：20-16：50

座長：長村登紀子(東京大学医科学研究所 セルフプロセッシング・輸血部)

「輸血・細胞治療における品質管理と安全性確保に向けて」案

シンポジウム1：「輸血用血液製剤の品質試験と安全性確保(案)」 30分

演者 血液事業本部技術部安全管理課 三輪泉先生

シンポジウム2：「再生医療等製品における品質試験について(案)」(PMDA) 30分

演者 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 再生医療製品等審査部 内田 寛邦先生

シンポジウム3：「特定細胞加工物における品質試験について(案)」 30分

演者 東京医科歯科大学 小児科 森尾友宏先生

(5) ワークショップ 16：50-17：40

「輸血の安全性確保に向けて～実施、副作用とその対策～」

(一般演題との兼ね合いで、演者数検討)

座長：看護師 一色(東大医科研)

(6) 優秀演題症表彰および閉会挨拶 室井一男(日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部長)

一般演題募集要項

①一般演題テーマ「テーマは自由です。」

②発表時間：口演6分、質疑3分

③抄録作成要領：Microsoft Word 600字程度 e-mail 添付でご送付ください。

発表者名、施設名、部署名、連絡先(TEL、e-mail)を記載して下さい。

④締め切り：平成29年12月15日金曜日 12時

⑤送付先：東京大学医科学研究所セルフプロセッシング・輸血部

尾上和夫 (e-mail: yuketsu@ims.u-tokyo.ac.jp)

⑥一般演題の優秀演題賞について表彰を予定しています。